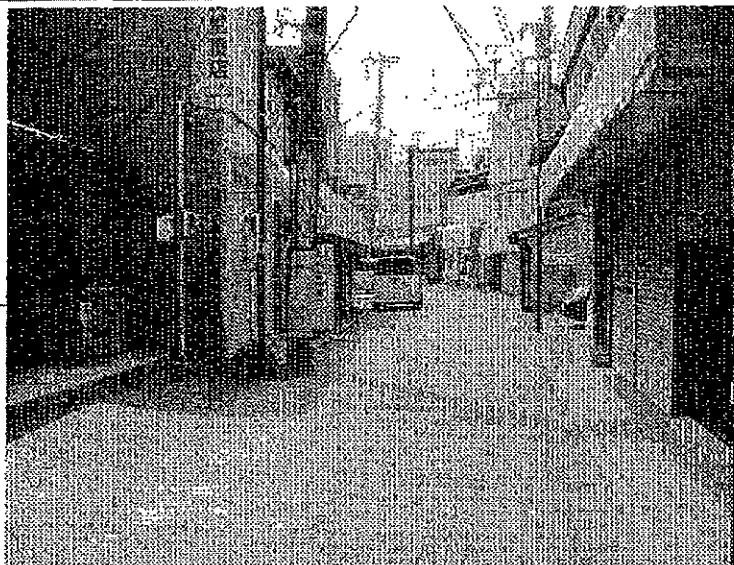


17日海業ブレイス
 昭和の漁師街プロジェクト仕掛け人・CFネッツ主催
「三崎と城ヶ島の将来」テーマに
倉橋隆行社長・吉田市長・木村県議が講演



人口減少に伴いさびれる一方の三崎下町商店街

「今後の三崎・城ヶ島の将来を考える」をテーマに、17日午後3時から三崎FV海業ブレイスで講演会が開かれる。(株)CFネッツ(横浜市港南台・倉橋隆行代表取締役)が企画したもので、ゲストは吉田英男市長と木村謙蔵・三浦選出県議。同社は23年度スタートする三崎下町・城ヶ島活性化事業第2弾「昭和の漁師街復活活性化プロジェクト」商店街のテーマパーク化」の仕掛け人。講演会は入場無料で、市民の来場を歓迎している。

活性化事業は三浦市全体の来遊客を増加させ、産直センター「うらり」に集中している観光客などを下町や城ヶ島へと誘導して地域活性化を図るのが目的。21年

度は協同組合・三浦市商店街連合会が提案した「貝がらホールリニューアルプロジェクト」が採用され、22年度は第2事業を募集。応募があった2件のプロジェクトの中から「漁師街復活活性化」が採用された。

提案された事業内容は歴史的な昭和の漁師街と残された自然を映画などの被写体として掘り起こす一方、地域を昭和の漁師街としてテーマパーク化を図るというもの。三崎港交番前のビル内に観光案内所を開設するほか、陶芸作家・澤田痴人などの作品を展示するギャラリーをオープンさせる。

さらに下町や城ヶ島を紹介するプロモーションビデオやガイドマップを作成。

24年度以降、新規テナント運営など漁師街文化の歴史を観光資源に位置づけ、「昭和の漁師街」としてのテーマパーク化をコンセプトに商店街のテナントを開発していくとしている。プロモーションビデオは大型テレビを通じてバス停に向けて放映することになっている。事業に対する助成と金額は23年度に正式決定する。

講演会は創業以来、全国で不動産の有効活用の提案、運用などを行い、長年培ってきたノウハウを下町・城ヶ島活性化の栄養材として生かすのが目的。講演会は午後5時までで、受け付けは午後2時30分から。

なお、交番前のビルは現在、改修作業が行われている。倉橋氏は城ヶ島大橋下ホテル「遊ヶ崎リゾート」のオーナーでもある。CFネッツグループは不動産コンサルティングのシー・エフ・ネッツを中心にウィークリーマンションマンションの(株)月極俱樂部などで構成されている。